

# がまごおり 議会 だより

## ● 9 月市議会定例会 ●

- 一般質問…ここが論点…………… 2～6
- 議決された主な議案…………… 7～10  
平成 23 年度決算を認定
- 委員会通信…………… 11  
委員会の行政視察報告
- 議会日誌、12 月定例会予定…………… 12

NO. 75  
2012.11



蒲郡市と西尾市、共同で愛知県知事に名鉄西尾・蒲郡線存続を求める意見書提出！（愛知県公館）

# 一般質問…ここが論点

## 9月定例会

9月市議会定例会中、5日、6日、7日の3日間で、市政全般について17人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。

発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、USTREAMライブ中継も実施していますのでご覧ください。

青山義明(自由クラブ)

フルマラソン大会の運営協力を



市で運営している三河湾健康マラソン大会

**問**

平成25年6月末から7月上旬に、全国初のナイターでのフルマラソン大会を計画しているが、市職員も実行委員会に加わり、運営に協力できないか。

**答**

実現すれば観光蒲郡を全国に発信できる絶好のチャンスだと考えている。警察との協議などハードルも高いが、開催となれば市

も支援、協力していきたい。

委託料精算金の裁判について

**問**

委託料の精算金にかかわる医師会との裁判の進捗状況はどうか。

**答**

24年7月の弁論準備手続で、裁判長から双方に和解額の提案があり、医師会には引き続き市への支援策の検討の指示があった。市としては、裁判長の提案を尊重し、和解する方向で検討したいと回答し、2回の弁論準備手続に向け、双方で和解除案の協議を進めていく。

大竹利信(公明党)

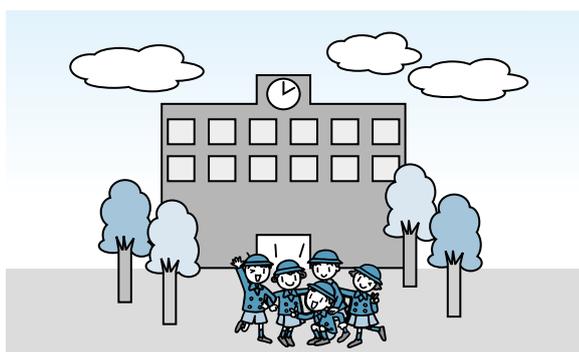
ジェネリック医薬品の使用促進を

**問**

医療費を抑制するため、ジェネリック医薬品の使用促進をどのように推進しているか。

**答**

保険証の一斉更新時に、国民健康保険加入世帯へ、ジェネリック医薬品希望カード付きの冊子を郵送



通学路の緊急合同総点検結果について

**問**

24年5月に文部科学省などから通知された緊急合同総点検の結果、市内でも危険箇所、要注意箇所合わせて27か所が選定された。この結果に対する対策はどのようか。

**答**

市教育委員会では、関係機関から送られてきた対策案を取りまとめ、10

月中旬をめどに、検討会議を開催し、選定箇所すべてに関係者が対応できるように計画を作成したい。

鎌田篤司(自由クラブ)

蒲郡港全体計画の整備と今後について

**問**

蒲郡港整備のため570m岸壁工事と14haの埠頭用地が必要ではないか。

**答**

市は、市内の企業や周辺地域の企業も含めポर्टセールスに努めている。

国道23号蒲郡バイパスの早期完成を

**問**

早期完成のために土地収用法の手続きが必要ではないか。

**答**

用地取得できない土地が3か所残っている。国は、引き続き用地交渉を続ける。土地収用法の手続きは、最後の手段で、収用に切りかえたわけではない。

南海トラフ地震による新被害想定への対応は

**問** 巨大地震の死者が32万人以上と想定されるが、広域的な対応はどうか。

**答** 東三河地域防災協議会では、24年度から受援部会を設け、支援を受けることも検討している。

伊藤勝美(公明党)

**耐震改修事業の拡充と上乗せを**

**問** 耐震改修促進計画の目標値に少しでも近づけるため、民間木造住宅耐震改修事業の補助枠の拡充と補助金額の上乗せを判断すべきと考えるが、どうか。

**答** 耐震化率の向上につながるため、補助枠の拡充を財政の担当課と協議して検討していきたい。また、補助金額の上乗せは今後の検討課題としたい。

**「介護マーク」の導入を**

**問** 認知症の家族を介護している方が外出時のトイレの付添いや下着などの買い物の時に周囲から受け



誤解や偏見を回避する介護マーク

る誤解や偏見を回避できるように、介護マークを導入してはどうか。

**答** 導入に向けて介護者が安心して介護マークを利用できるようにするための取り組みは必要と考える。導入費用等もそれほどかからないので、前向きに検討していきたい。

鈴木基夫(自由クラブ)

**ヘルスケア産業に対する今後の取り組みは**

**問** 「癒しとアンチエイジングの郷」は、本市がリーディングシティになる可能性のある事業だと考える。国も興味を示しており、



癒しとアンチエイジングの郷推進事業

県からもヘルスケア産業の中心地に東三河をとの意向を聞いている。市の考えは、**答** 医療産業クラスター等

**問** 日本の医療機器や医薬品

品がかりすぎる問題の解決策を盛り込むほか、本市がヘルスケア産業の先進地として観光や他の産業コンテンツと組み合わせた特区構想を提案していく必要がある

るのではないかと。ヘルスケアに関する研究開発の立ち上げや県と連携して特区を活用した薬事規制への支援のあり方も検討していく必要があると考えている。

新実祥悟(自由クラブ)

**名鉄西尾・蒲郡線への今後の支援は**

**問** 存続に向けた支援をどのようにしていくのか。

**答** 名鉄の収支状況を見ながら支援金額を決めていきたい。支援期間も長期にわたる協定書の締結を念頭に西尾・蒲郡線対策協議会で協議していきたい。また、市民丸ごと赤い電車応援団事業への支援と名鉄西尾・蒲郡線の存続を全市の

な問題として市民にとらえてもらうための事業や周知を行っている。

**公共施設整備に民間活力の導入を**

**問** 老朽化する公共施設の整備に今後50年間で約



今後整備が必要となる公共施設(市民会館)

1200億円が見込まれると聞く。施設建設にPFI方式の導入は可能か。

**答** PFI法の改正により以前より導入しやすくなったが、選定した民間事業者が倒産してしまった場合、補償がどうなるのかなど今後、研究しながら検討していきたい。

喚田孝博(志誠クラブ)

**「健康マイレージ制度」の導入を**

**問** 健康づくりの動機づけ支援と健康的な生活習慣の定着促進を目的とした

「健康マイレージ制度」の導入を検討してはどうか。

**答** 健康づくりへの動機づけにつながる有意義な制度と考える。導入経費や制度の管理体制をどのようにするか研究していきたい。

### 本宿線・蒲郡環状線の今後の見通しは

**問** 今後の整備の見通しは、どのようなか。

**答** 本宿線は8月に地権者と契約できたので、26年度早期の供用を目指していきたい。環状線は五井町西郷から中部土地区画整理地内の調査を行っていきたいが、工事費に約11億円かかるので財政状況を踏まえて整備を進めていきたい。

その他の質問

1 いじめ対策・二学期制・土曜日の活用

### 竹内滋泰(自由クラブ)

### 権限移譲による地方分権改革について



**問** 市民サービス向上の観点から権限移譲による地方分権改革推進が必要と考える。市の考えはどうか。

**答** 事務を確実に実施するために県からの支援や財源が不可欠である。市民が受ける利点と市の事務負担との均衡を考慮し決定していく。25年度は一般旅券発行に関する事務等が市で実施できる予定である。

**問**

**答** パーソナルサポートサービスについて

**問** パーソナルサポートサービスの概要を伺う。

**答** 経済的、社会的な問題等で生活や就労に困難を抱えている方を個別的、

継続的、制度横断的に寄り添い生活再建支援をしていく制度である。

**問** 今後の市の取り組みについて伺う。

**答** 他市で行われたモデル事業等も参考にして、蒲郡市の実情にあった支援体制を研究していきたい。

### 柴田安彦(無党派)

### 市有地・財産区の管理について

**問** 賃貸している市有地上の建物が廃屋になり危険な事例がある。借地者が



現在閉鎖されている原山焼却場

亡くなり相続放棄されている場合は、特別代理人を選任して対処してはどうか。

**答** 西浦地区で、廃屋事例を4件把握している。

個人の財産権の問題もあり、市は直接面談や文書で必要な措置を講じるようお願いをしている。

特別代理人を選任し訴訟する場合は、清算事務を行う必要がなく、円滑迅速な対応ができる。しかし、廃屋取り壊しになれば一時的に市が費用負担することになり、市民の理解が得られるかが問題となる。

**問** 旧原山焼却場は、早急に撤去すべきではないか。炉の撤去やダイオキシン

**答** 炉の撤去、ダイオキシン調査はしていない。

鍵で閉めきり、焼却炉は封鎖している。焼却場の取り壊し時期は、財政状況を見ながら検討していきたい。

### 伴 捷文(自由クラブ)

### 競艇場施設改善中の売上確保について



施設改善中の新たな施策展開も考えているボートレース蒲郡

**問** 施設改善中の本場売上が減少している。ファンサービス充実に向けた施策について伺う。

**答** 外れ舟券抽選機を導入し好評を得ている。また、キャッシュレス投票機を導入し、来場客にはキャッシュレス会員となってもらいポイント付与を考えるなど新たな施策展開も視野に入れて売上向上を図っていききたい。

ナイター発売時間も現行の法律で決まっている午後9時近い時間で閉め切りができるよう検討したい。

### 地域医療連携室 について

**問** 24年7月に立ち上げられた地域医療連携室の状況についてはどのようなか。

**答** 地域医療連携室が1次医療についてはかかりつけ医を持っていただくよう働きかけており、紹介率、逆紹介率が向上するような取り組みを行っている。

### 広中昇平(自由クラブ)

### アワビの陸上養殖プロジェクトについて

**問** 三谷水産高校や愛知工科大学が参画し、本格的な産学官連携プロジェクトとして期待している。現在までの経過について伺う。

**答** 24年度は、がまごおり産学官ネットワーク会議のメンバーが中心となり情報収集及び活動の枠組み作りを進めている。

### 公共施設の相互利用を



相互利用の投げかけをしているハピネス・ヒル・幸田

**問** 西三河地域との公共施設の相互利用の可能性はどうか。

**答** 交通基盤が整ってきているので西三河地域との連携も視野に入れ、投げかけもしていきたい。

**問** 老朽化した公共施設の建て替えについて幸田町や西尾市と共同で建設する手法は可能か。

**答** 現在は、そこまで検討が進んでいない。今後は共同建設も踏まえ、公共施設見直し検討委員会で検討していきたい。

### 牧野泰広(自由クラブ)

### 地域WiMAXの可能性について

**問** 遠隔医療、在宅医療・介護等、多くの分野で注目されている。また、スマートタウンやスマートグリッド等のエネルギー効率化にも不可欠となっている活用について市はどのように考えているか。

**答** 基盤整備されれば特色あるまちづくりや産業活性化も期待できる。活用できる補助メニューを調査し、事業展開に向け検討したい。

### 今すぐできる市民の足確保対策を

**問** 寿楽荘への入浴バスの活用と、広域連携の観点で幸田町のコミュニティバス路線を蒲郡市民病院まで延長できないか。

**答** 寿楽荘への入浴バスについては、まず職員が乗ってみて現状を把握し検討したい。幸田町のコミュニティバスとの連携は、幸田町企画政策課と意見交換し

てみたいと考えている。

### 尾崎広道(自由クラブ)

### 一戸一灯運動について

**問** 安価な費用で住宅、企業の門灯を夜間点灯していたら一戸一灯運動について市の考えは。

**答** 一か月110円程度で行えて大きな効果が得られる防犯ボランティアだと思っている。

**問** 今後のアピールについてはいかがか。

**答** 広報がまごおり、市のホームページなどにより啓発活動をするのと同時に、



防犯ボランティアとして効果が期待される一戸一灯運動

地域の防犯組織などにもお願いをして、この運動を進めていく。

### 市有地の 廃屋撤去について

**問** 建築基準法により土地所有者も除去措置を勧告することができ。このことについて市の対応は。

**答** 建築基準法第10条をもとに他市町村が空き家管理条例と呼ばれるものを制定していることは承知している。蒲郡市も研究、検討をしていきたい。

### 松本昌成(公明党)

### 公共施設見直し 検討の状況は

**問** 公共施設の見直しの進捗状況と今後は。

**答** 公共施設見直し検討委員会を設置し、会議を開催した。主に公共施設の現状把握の仕方について協議し、状況調査を進めている。その中で現在ある施設をそのまま維持すると仮定した場合、今後50年間で毎

年平均24億円、合計1200億円の建替費用が必要だという試算になった。進め方としては、24年度中に見直しの優先順位付けを行い施設の存続、統合、廃止を考えていきたい。

### うつ対策・自殺予防対策について

**問** 市の現状と、今後市職員向けに見守る人と定義されるゲートキーパーの養成研修をする考えは。

**答** 23年度の自殺者は19名で県平均より少し多い。ゲートキーパー養成については職員研修として行えるか検討していく。

### 鈴木貴晶(自由クラブ)

#### 蒲郡まつりの歩行者天国について

**問** 例年、歩行者天国として行っていた中央通りフェスタが24年度で最後と聞いた。25年度に向けた新たな試みの考えは。

**答** 歩行者天国の終了に伴う市民の反応を見なが



24年度で終了が決定した中央通りフェスタ

ら、限られた予算の中で歩行者天国のイベントを担ってくれる団体やイベント企画会社に委託できるかなどを考え、実施に向けて前向きに検討していきたい。

### 市職員のAED講習について

**問** 市職員においても定期的に全職員がAED講習を受講できるようにシステム作りが必要ではないかと考えるがどうか。

**答** 21年に全職員を対象に研修を行ったが、3年ほど経過してしまっている。職員が率先してAEDが使えるように人事課と消防署

の間で相談をし、継続して定期的に受講できるように検討していく。

### 日恵野佳代(無会派・日本共産党)

#### 総合的な公共交通の実施について

**問** コミュニティバスの取り組みが蒲郡は遅れていると感じるが市の認識はどうか。

**答** コミュニティバスを実施するかどうかも公共交通についての基本計画の中で考えていく。

**問** 公共交通を検討する協議会を構成する「住民」とは、形原と西浦地区だけを対象としているのか、全



幸田町で運行されているコミュニティバス

市を対象としているのか。形原地区に限らず全市的な協議会の立ち上げを考えている。

### 原発ゼロについて

**問** 中部電力に浜岡原発を直ちに廃炉とするように申し入れる考えはあるか。

**答** 浜岡原発では、津波に對して補強の工事を着々と進めているので具体的な心配の必要はなく、また耐震工事により、地震に對して過度に心配することはないと考えている。

### 稲吉郭哲(自由クラブ)

#### 第四次総合計画の目標人口達成の施策は

**問** 市と土地開発公社が保有する162件の土地に定期借地権などの活用ができないか。

**答** 定期借地権は、民間でも積極的に活用されているので市有地での検討もしていきたい。土地開発公社の土地には定期借地権が



土地開発公社が所有している形原町春日浦の住宅地

設定できないので、市が公社の土地を取得する状況になった後と考えている。

**問** 蒲郡市で空き家バンク事業についての考えは。

**答** 豊田市と設楽町が行っている。実績や効果を参考に検討していく。

### 企業誘致の状況・企業用地の確保について

**問** 市長、副市長みずから企業訪問を始めたと同ったが反響はどうか。

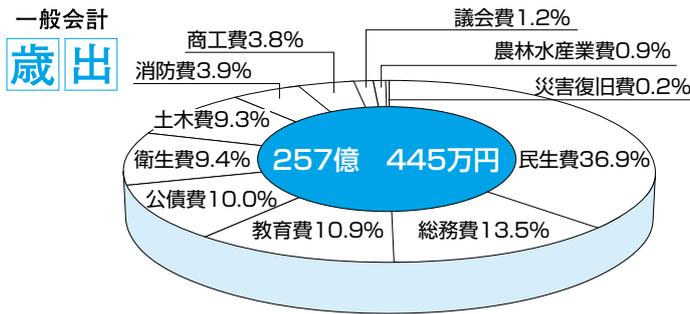
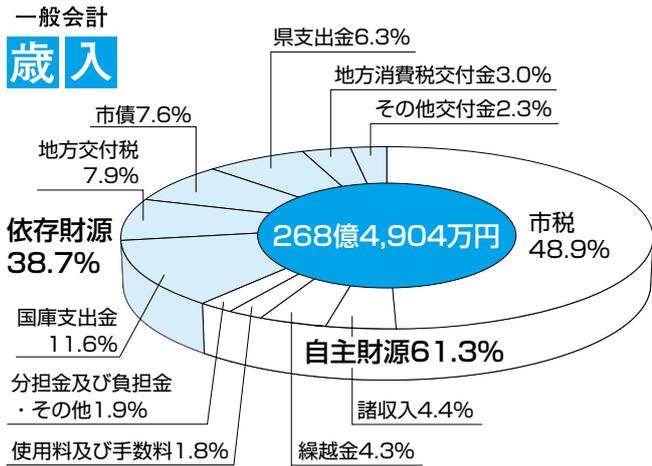
**答** 企業用地が市内にないという意見を企業側からいただいている。早期の企業用地の確保のためにプロジェクトチームを設置し進めたいと考えている。

# 平成23年度一般会計決算などを議決

9月定例会  
議案

9月市議会定例会は、9月5日から25日までの21日間の会期で開き、議案24件、意見書案2件を審議しました。

平成23年度決算の認定など、その主な内容をお知らせします。



## 平成23年度 決算

	歳入	歳出
一般会計	268億4,904万円	257億445万円
特別会計	1,448億3,137万円	1,431億2,767万円
企業会計		
水道事業	収益的 17億8,100万円 資本的 1億9,176万円	16億6,917万円 6億3,476万円
病院事業	収益的 72億8,320万円 資本的 3億9,498万円	77億1,475万円 6億5,936万円

※企業会計は、消費税を含んだ金額。

歳出前年度比104・1%  
一般会計の歳出は、前年度比104・1%で、歳入は同102・3%でした。

●一般会計決算

平成23年度一般会計決算など12会計決算は、16人の委員からなる決算審査特別委員会（委員長新実祥悟、副委員長青山義明）を9月5日に設置し、14日及び18日から20日までの4日間にわたり審査しました。

決算審査特別委員会での主な質疑は次のとおりです。

問 23年度の成果としてどこまで事業が行われているのか。また今後の予定については、どのようになっているか。

●総務費

■歳出

一般会計の歳入から歳出を引いた額は、11億4460万円ですが、この中には翌年度に繰り越すべき財源の1億8528万円が含まれていますので、これを除いた実質収支額は9億5932万円の黒字です。

### 決算審査 特別委員会から

### 特別会計決算(各会計別内訳)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	81億8,687万円	80億1,989万円	1億6,698万円
介護保険事業	49億2,717万円	48億7,449万円	5,268万円
後期高齢者医療事業	14億3,275万円	14億1,266万円	2,009万円
モーターボート競走事業	1,257億285万円	1,246億3,764万円	10億6,521万円
土地地区画整理事業	21億565万円	18億9,837万円	2億728万円
公共用地対策事業	1億1,146万円	5,639万円	5,507万円
下水道事業	23億766万円	21億9,346万円	1億1,420万円
三谷町財産区	4,343万円	2,489万円	1,854万円
西浦町財産区	1,353万円	988万円	365万円

※決算認定…議会が一般会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

単純なシステム更改ではなく、併せて業務の見直しをすることが、最適化事業としてもっとも大切なことだと考えている。また、予定としては24年度は調達仕様書の作成及び業者選定を行う。25年度から構築に移り、26年度中の稼働を目指している。

●民生費

●園庭芝生化関連経費

**問** 園庭を芝生化した保育園は現在いくつあるのか。  
また、今後の予定はどうなっているのか。

**答** 現状6つの保育園で園庭の芝生化をした。  
今後の予定としては、25年度に向けて各保育園に芝生化の意向を確認した。いくつかの保育園で手が挙げたので、保護者、保育士、地域の方々の協力のもと、支援するかたちで進めている。

●農林水産業費

●千尾地区ほ場整備の進捗

**問** 進捗及び工事の様子はどのようか。

**答** 23年9月21日に事業認

可を受けて開始した。

23年度は蒲郡東高校の南側に当たる下千尾地区の道路と排水の一部を施工した。事業費は約4800万円、進捗率は15・2%である。施工に当たり、地域の方には回覧で周知し、蒲郡東高校には直接お伺いし、協議を行った。工事は登校時間中の作業中止や必要に応じガードマンを配置する等の配慮をして進めた。

●商工費

●癒しとアンチエイジングの郷

**問** 商工会議所と連携してどのような事業を展開したのか。

**答** 23年度は①天然由来色

素染色による癒しの健康維持の試作品開発事業、②生活習慣病予防プログラム開発事業、③癒しとアンチエイジングの郷ポータルサイト構築事業、④アンチエイジング野菜の活用促進事業、⑤蒲郡みかん機能性成分開発事業を行った。

市は商工会議所に事務局が置かれている「癒しとアンチエイジングの郷推進協議会」に事業費の補助を行った。

●土木費

●特定優良賃貸住宅の供給

**問** 事業内容と今後、制度活用を拡大していく考えはあるか。

**答** 民間で建設された賃貸住宅を市が20年間借り上げて公共賃貸住宅として活用する事業である。三谷町と府相町に2棟32戸の住宅を管理している。

現在は既存の市営住宅を修繕した方が安いですが、新設の住宅建設費用も考えた上で民間住宅を1棟借り上げていく方法と費用を比較し、制度活用については研究課題としていきたい。

●消防費

●東日本大震災地域への支援

**問** どの地域に職員を何名派遣して、どのような活動をしてきたのか。

**答** 23年3月12日から宮城県亘理町に愛知県緊急消防援助隊として消防職員32名を派遣した。

した。

●教育費

●上ノ郷城跡発掘調査

**問** 23年度に第1次から第5次までの発掘調査報告書を作成し、第6次発掘調査では堀の一部が発見されたと聞く。発掘の調査結果をどのように報告したのか。

**答** 現地説明会を報道関係者に対して6月3日に、一般市民に対して翌4日に開催して、約250名が参加した。回を追うごとに現地説明会への参加者も増えてきている。また、24年3月10日から25日まで発掘調査に関する速報展を博物館で開催した。

■歳入

●特別徴収の事業所数の推移

**問** 個人住民税の特別徴収を実施する事業所が22年度からずっと増えてきていると聞くが、増加の理由と今後の方向性は。

**答** 23年度は、特別徴収の推進を目的に普通徴収を実施している事業所53社を訪問し、そのうち14社から特別徴収の協力を得ることが

■9月定例会の日程

5日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、一般質問など〕
	決算審査特別委員会
6日	本会議〔一般質問〕
7日	本会議〔一般質問〕
10日	総務委員会
11日	経済委員会
12日	文教委員会
14日	決算審査特別委員会
18日	決算審査特別委員会 議会運営委員会 議会運営委員会
19日	決算審査特別委員会
20日	決算審査特別委員会
25日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

● 最近3か年のモーターボート線出金

会計名		年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
一般会計			0	0	0
特別会計	区画整理事業		8千万円	2億円	11億2千万円
	下水道事業		6億2千万円	6億6千万円	5億8千万円
企業会計	水道事業		0	0	0
	病院事業		13億円	14億円	16億円
合計			20億円	22億6千万円	33億円

できた。  
24年7月12日に特別徴収の推進を図ることを目的に設立された愛知県個人住民税特別徴収推進協議会で特別徴収の推進を図るための課題や今後の取り組みについて検討をしている。

●モーターボート競走事業特別会計  
年間の売上額は779億7573万円で、前年度比10・4%の増、利用人員も37・3%の増となっている。

25年4月1日から市長が指定する収集・運搬業者ではない者がリサイクルを目的に市民が資源ごみステーションに出した資源ごみを持ち去る行為を禁止します。違反者に勧告して、従わない場合は、命令することになります。さらに従わない場合は、5万円以下の罰則を科すことができるようになります。

今後の取り組みとしては、広報等への掲載、説明会の

(第58号議案)

● 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正

条例の改正

● 水道事業会計  
経営収支の状況は、総収益は9498万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は2億3361万円です。

● 病院事業会計  
経営収支の状況は、4億7608万円の純損失を計上し、当年度未処分損失金は112億3118万円に増加しています。

■ 陳情

○名古屋市中区栄4丁目の場外舟券売場設置に反対する陳情書

提出者 名古屋市中区栄四丁目16-16  
医療法人 格医会 可世木病院  
理事長 可世木 成明

審査結果 不採択

○栄4丁目の場外売場設置反対についての陳情書

提出者 名古屋市中区栄四丁目12番13号  
南武平町北部町内会員反対者  
代表 横井 良彦

審査結果 不採択

○定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書

提出者 蒲郡市新井町13-18  
蒲郡市教員組合  
執行委員長 加藤 英雄はじめ363名

審査結果 採択

○「愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書

提出者 蒲郡市鹿島町深田22-1  
医療法人 耕和会  
こんどうクリニック  
近藤 耕次

審査結果 聞きおく



資源ごみステーション

■ 意見書

①定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

②「名鉄西尾・蒲郡線」の存続に向けた施策を求める意見書

愛知県知事

(○内の数字は、意見書案番号。いずれも全会一致で可決されました。)

## ■ 9月定例会で審議された議案の一覧

### ○条例の改正

- ⑤6 防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正
- ⑤7 火災予防条例の一部改正
- ⑤8 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正
- ⑤9 自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正

### ○決算

- ⑥3 平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定
- ⑥4 平成23年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑥5 平成23年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑥6 平成23年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑥7 平成23年度モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑥8 平成23年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑥9 平成23年度公共用地対策事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦0 平成23年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦1 平成23年度三谷町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦2 平成23年度西浦町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦3 平成23年度水道事業会計決算の認定
- ⑦4 平成23年度病院事業会計決算の認定

### ○補正予算

- ⑦5 平成24年度一般会計補正予算(第3号)
- ⑦6 平成24年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑦7 平成24年度モーターボート競走事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑦8 平成24年度三谷町財産区特別会計補正予算(第1号)
- ⑦9 平成24年度一般会計補正予算(第4号)

### ○同意

- ⑥0 教育委員会委員の任命

### ○その他

- ⑥1 市道の路線変更
- ⑥2 平成23年度水道事業会計利益剰余金の処分

(○内の数字は議案番号。⑥2、⑥3、⑥6、⑥7は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

24年12月28日に新たに蒲郡駅東自転車駐車場を設置し、これに伴い蒲郡駅西第1・第2自転車駐車場を廃止します。また、三河塩津駅前広場の整備に伴い、塩津駅西自転車駐車場を新設

### (第59号議案)

開催、禁止看板の設置等で啓発を行い、資源ごみステーションへの早朝パトロールを行う予定です。

● 自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正

### その他の議案

#### ● 教育委員会委員の任命

#### (第60号議案)

委員鈴木康仁氏及び高田稔氏の任期が平成24年9月30日に満了すること及び委員丸山勝氏の死亡に伴い、鈴木康仁氏及び高田稔氏を引き続き、小田裕慈氏を新

します。自転車駐車場の整備により蒲郡駅では収容台数の増加、塩津駅では収容台数の維持をし、市民の利便の増進を図っていきます。

#### ● 水道事業会計利益剰余金の処分

#### (第62号議案)

水道事業会計利益剰余金9498万円のうち、9400万円を減積積立金に積み立て、残りを24年度に繰り越すことにしました。

市道姥ヶ懐16号線の路線を変更します。

#### ● 市道の路線変更

#### (第61号議案)

たに委員に任命することに同意しました。

## ■ 9月定例会で議決された平成24年度補正予算

会計名	補正の主な理由	補正額	歳入・歳出予算の総額
一般会計(第3号)	予防接種事業費追加(2,544万円)	35,388万円	2,527,920万円
	保育園ガラス飛散防止フィルム貼付事業費(1,375万円)		
	教育施設整備事業基金積立金追加(30,000万円)		
一般会計(第4号)	羽栗排水路整備事業費	3,300万円	2,531,220万円
介護保険事業特別会計(第1号)	介護保険事業基金積立金追加(46,842万円)	5,268万円	531,958万円
モーターボート競走事業特別会計(第1号)	企業会計方式導入委託料	400万円	11,255,230万円
三谷町財産区特別会計(第1号)	旧蒲郡ふきぬき観光ホテル建物調査・算定委託料	260万円	4,590万円

# 委員会通信

## 外向けレストランの 設計変更について

8月24日に行われた経済委員会において、競艇場施設改善に伴う外向けレストラン設計変更についての報告がありました。

外向けレストランは競艇場西側の国道23号沿いの2階に設置を予定していましたが、道路がカーブになっており見つけにくいことや概ね150日ある非開催日の集客が見込めないことから進出に前向きな業者がない状況となりました。

また、外向けレストランにすると入場者には一度場外へ出てからレストランを利用してもらうことになり、競艇ファンへの「食の提供」に関して不便をかけてしまうことからレストランを場内からの利用のみとする設計変更をし、更なるサービスの充実を図っていくことにしました。

## 市民病院改革プラン の総括について

9月12日に行われた文教委員会において、平成21年度から23年度に実施した市民病院改革プランの総括についての報告がありました。

プランの目標数値を4つ定め、職員給与費対医業収益比率は23年度計画に対して目標に達したものの他の3つの目標数値に関しては未達となりました。財政状況の厳しさもあり、一般会計等からの繰入金も予定より少なかったことも影響しました。

24年度からはDPC（診断群分類別包括評価）を導入し分析を行っています。ある程度収益が確保できる見込みが立っております。また、医師や看護師確保などに努めることで、できるだけ収支を改善して経常収支の黒字化を図るべく努力をしていきます。

### ●総務委員会 7月23日～25日

加賀市／市内交通体系の再構築  
魚津市／地域振興プロジェクト  
高岡市／市税のコンビニ納付  
敦賀市／地域W i M A Xの可能性



### ●議会運営委員会 7月12日、13日

所沢市／議会基本条例・改革評価・事業評価  
稲城市／①議会運営  
②常任委員会の  
特定所管事務調査



## 委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、7月・8月に議会運営及び常任委員会が行政視察を行いました。視察地及び視察項目をお知らせします。

### ●文教委員会 7月2日～4日

飯塚市／飯塚市立病院  
大野城市／大雨警報のため視察中止  
豊後高田市／①昭和の町  
②学びの21世紀塾



### ●経済委員会 8月1日～3日

高崎市／景観・広告ポランテア  
燕商工会議所／磨き屋シンジケート  
小千谷市／観光施策  
熊谷市／B級グルメへの取り組み



## 議会日誌

7月14日から10月11日

### 7月

23日～25日

総務委員会行政視察

30日 議会運営委員会理事会

### 8月

1日～3日

経済委員会行政視察

16日 国道23号蒲郡バイパス  
建設特別委員会

23日 議会運営委員会理事会

24日 経済委員会

27日 9月定例会招集告示  
議案説明会

30日 議会運営委員会

### 9月

5日～25日

9月定例会

18日 議会運営委員会理事会  
議会運営委員会

25日 議会だより編集委員会

### 10月

11日 議会だより編集委員会

## 愛知県知事に意見書を 提出しました

平成24年9月定例会において全会一致で可決しました「名鉄西尾・蒲郡線」の存続に向けた施策を求める意見書を西尾市議会の正副議長とともに10月12日に愛知県知事に提出しました。

意見書の内容は、次のとおりです。

本市は、この路線の存続のため、平成22年度から平成24年度まで沿線市である西尾市とともに年間2億5千万円の支援を行っていくことを決定しました。愛知県は、現在この支援金に対する補助金を両市に



名鉄西尾・蒲郡線の利用客の様子

交付してはいますが、今年度の補助に対して金額の引き下げの動きがあります。県民の足の確保、地域活性化施策を推進することが愛知県の責務であり、県と沿線2市の3者が同じ立場に立って応分の補助をして

いただくよう要望します。要望の結果、今年度も昨年度と同額の補助をしていただけることになりました。

## 12月定例会の 開会日・日程は

12月市議会定例会は、12月6日(木)から開かれる予定です。

詳しい日程は、11月30日(金)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所7階の議会事務局で手続きをしてください。また、本会議の日程と一

般質問の内容は、市役所のロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

## 議会だよりは 点字版とテープ版も 発行しています

議会だよりは、目の不自由な方向けに、点字版とテープ版を発行しています。

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で行われています。

また、議会だよりは、市役所内の議会事務局と三河



塩津駅を除く市内JR3駅、名鉄蒲郡駅のほか市民病院や市役所出張所、市立図書館にも置いてあります。なお、インターネットでもご覧いただけます。



平成7年6月15日に第1号の「がまごおり議会だより」が創刊され、早17年目になります。当時の紙面は、5月臨時会号は6ページ、3・6・9・12月定例会号は8ページ仕立て、現在では5月臨時会と6月定例会を合わせた号と9月定例会号は12ページ、3・12月定例会号は10ページ仕立てに拡大して編集しています。

議員定数も28名から20名になりましたが、一般質問をする議員は9～13名から、18～19名と増加し、毎議会ごと多くの議員が市政全般にわたるチェックや提案に取り組んでいます。

そうした議会の動きをタイムリーに市民の皆さんにお伝えするよう、今後とも議会だより編集委員会委員一同、創刊時の初心に立ち返り、実践躬行(じっせんきゅうこう)してまいります。